

第3学年 社会科「安全なくらしを守る」

◆本時の指導（第10時／全10時間）



(1)本時の目標

火災から安全を守る働き（消防）について、学習したことをまとめる。

(2)本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 学習問題を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 火事から人々の安全を守るために、だれが、どのようなはたらきをしているのだろう。 </div>	・第1時の板書の写真データを、電子黒板を使って提示する。
展開	2 消防署の働きについて振り返る。 ・すぐに現場に行けるように、日ごろから訓練や準備をしていた。 ・火災が発生していないときは、火災予防の呼びかけをしたり、施設や設備の点検をしたりしていた。 3 火災発生時の関係機関の働きについて振り返る。 ・災害救急情報センターからの連絡でたくさんの人たちが協力していた。 ・練馬区の周辺地域からも応援にくる仕組みがあった。 4 地域の消防に向けた働きについて振り返る。 ・消防団が安全を守るために働いていた。 ・防災のためのさまざまな施設があった。 5 自分たちにできることを考える。 ・火災予防のポスターや標語を作る。 ・消防少年団に入って、夜警を行う。	・消防の働きについて、消防署の働きとその他の機関を分けてまとめる。 ・これまでのノートを見返しながら振り返らせる。 ・ワークシートを用意し、必要な児童には配付する。 ・東京消防庁HPの統計資料や動画資料を見せて、振り返らせる。 ★消防、様々な関係機関、地域の取組とともに、  「自分ができること」を考えることを通して、地域の一員として社会参画の意識を育み、自分も社会のためにできることがあるというよさに気付く。
まとめ	6 本時の学習を振り返り、火災から安全を守る働きについてまとめる。	◇火災から安全を守る働き（消防）について、学習したことを理解している。（ノート）

◆ 成果と課題

【成果】

単元の学習を振り返った後、改めて自分ができることを考え、共有する活動を取り入れることで、自分にも地域のためにできることがあるということに気付くことができた。自分が地域のためにできることがあるということを知ること、自分のよいところを見つける力を育成することができた。

【課題】

自分が地域のためにできることに関して、「気を付ける」「意識して過ごす」などの抽象的な表現もあったため、「どのように」取り組むつもりなのかを問い返すことでより、発想を具体化させていく必要がある。

11/22 No.9

消防署 1分で準備

〈火事の時〉 火を消す
 現場に何かに 人を助ける

〈火事がない時〉 やり方 力 時間

・訓練 火事が起きておもしろいように
 ・車の点検
 ・連絡待ち やり方教える・かみん
 ・打ち合わせ・マンホールの点検

消防署以外

・東京消防庁… 連らくを受ける/する
 ・警察署… 交通整理をする
 ・水道局… 水がたたく人出るようにする
 ・ガス会社・電気会社… ガス 電気を止める
 ・病院… けが人の対応
 ・消防団・消防少年団… 消火の手伝いなど

自分たちでできること

① 火のあつかりに気を付ける ② ガスのあつかり
 ③ 安全に火を使う ④ 火あそびしない 気を付ける
 ⑤ 火を使うときはこまめに消す ⑥ 火をつけっぱなしにしない
 ⑦ 火事につながるものがある
 ⑧ 火事を見たら知らせる
 ⑨ すぐにはげる ⑩ 連らく
 ⑪ 火事に備える
 ⑫ 連らくの準備

安全に
 すぐ連らく

第3学年 算数科「時刻と時間を求めよう」

◆本時の指導（第3時／全5時間）



(1) 本時の目標

ある時刻から一定時間後の時刻の求め方を考え、説明することができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 時刻や時間について振り返る。 2 課題を捉え、解決の見通しをもつ。	・スライドを使って既習の時刻と時間について振り返り、時刻と時間の違いを確認させる。
	「何時に学校に着くか分からない」とこまっているたろう君に時こくを教えてあげるには、なにが分かればいいでしょう。 ・家をいつ出発するか。 ・家から学校まで何分かかるのか。 ・どうやって時刻を求めるのか。	★課題を分析し、課題の解決のために必要な情報がなにか考える。 
展開	3 時刻のもともめ方を考える。 ・言葉で考える。 ・時計の図で考える。 ・数直線で考える。	・分かっていることや求めていることを時計の図や数直線と対応させる。 ・言葉と図を関連させて考えられるようにするため、図の中に数や言葉を書くように助言する。
	4 考えを発表し合い、検討する。	◇文章や時計の図、数直線を用いて、ある時刻から一定時間後の時刻の求め方を考え、説明している。(ノート)
まとめ	5 時刻や時間の求め方をまとめる。	「何分後」の時刻は、数直線や時計の図を使うともともめやすい。
	6 適用問題に取り組む。	

◆ 成果と課題

【成果】

条件不足の問題を提示することで、課題を分析し、課題の解決のために必要な情報がなにかを考えるという課題対応能力を育成することができた。

今回の実践に限らず、問題解決型の授業を展開する際には、同様の流れで条件不足の問題を提示し、児童と解決のために必要な情報を考えるような経験を積み重ねることで、次のことを考える力を育成することができると考えられる。

【課題】

問題解決の時間を確保するために、課題の分析を効率的に行うことができるように、問題の提示の仕方や発問の仕方を工夫するなどの手だてが必要だった。

第3学年 学級活動(3)

「3年生になって～本気で夢をかなえよう～」

◆本時の指導（第1時／全6時間）



(2) 本時の目標

自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。いろいろな職業や生き方があることに気付くとともに、自分の将来の夢や生き方、近い未来や目の前の目標などについて考える。

(2) 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 自分の「好き」や「楽しい」、よいところを伝え合う。	・友達の「好き」や「楽しい」、よいところを共有し、認め合えるようにする。
	自分の将来の夢や、目の前の目標について考えよう。	
展開	2 教師の生き方に触れる。 ・先生クイズに挑戦する。 3 将来の夢や近い未来の目標を一つ宣言する。 ①自分の好きなことや楽しいと思うことと、夢や目標とのつながりについて考える。 ②夢や目標を発表する。 ③友達の夢や目標を共有し認め合う。	◇いろいろな職業や多様な生き方があることに気付いている。 ◇自分のやりたいことや、よいと思うことを考え、自分の将来や近い未来について考えようとしている。 ★自分のよさに気付き、将来の夢や目標、またその関連性を見付ける。 ?  ・現時点で、将来の夢や近い未来の目標が見つからない場合は、身近な日常の生活や学習、自分の好きなことや、楽しいと思うことと関連付けて考えることができるようにする。
まとめ	4 本時の振り返りをする。 5 次時の学習内容を知る。	〈次時〉どんな人がそれになれるのか、また、なるために何が必要なのかを考える。

◆ 成果と課題

【成果】

自分の好きなことや楽しいことを考えることによって、自分について、また、自分の夢や将来について考える機会となった。

【課題】

考える内容や活動が多岐に渡ったため、児童自身、自分の考えを整理しがたい様子が見られた。本時を2時間に分けることで、児童が自分の考えを整理する時間を確保する必要があった。

第3学年 理科「じしゃくのふしぎ」

◆本時の指導（第2時／全5時間）



(1)本時の目標

磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを理解する。

(2)本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 前時に見付けた課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> どのようなものが磁石に引き付けられるのでしょうか。 </div>	「付く」ではなく、「引き付けられる」という表現を使うとよいことを知らせる。
展開	2 予想をする。 ・電気を通す物と同じように何でできているかによって引き付けられるかがわかる。 ・金属は引き付けられる。 ・釘、10円玉、アルミニウム、ゴム、ガラス、段ボール、はさみ、ペットボトル空き缶、わりばし等・・・ ・その他、身の回りの物が磁石に引き付けられるか、引き付けられないかを予想する。 3 実験をする。 ・実験計画を立てる。 ・磁石に引き付けられた物には○シール、引き付けられなかった物には×シールを張る。 4 結果を発表する。 5 考察する。 ・自分の考えを書き、発表する。	・普段の生活や、電気を通す物を調べたときのことを想起しながら考えさせる。 ★自分の考えをしっかりともち、予想する。 ◇積極的に予想をし、実験に取り組んでいる。 ・形や色、大きさ、硬さ、材質などいろいろな種類を調べるよう助言する。 ★自分の考えを相手に分かるように伝える。 ★集中して相手の話を聞き、話の中心を考えて聞き取り、相手の考えを理解する。
まとめ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 物には磁石に引き付けられる物と、引き付けられない物があり、鉄は磁石に引き付けられる。 </div>	◇磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを理解している。

◆ 成果と課題

【成果】

教科書に掲載されている物以外にも、小さな物や大きな物、同じ物であっても材質が違う物など児童が興味をもったものについて自由に試させることで、主体的に行動する力につながった。

【課題】

指名をすると発表することができるが、自ら挙手をして自信をもって自分の考えを相手に伝えることができない児童もいた。「自分のよいところを見つける力」「考えや気持ちを聴く・伝える力」を育成し、自分の考えを相手に分かるように伝えることができるようにする必要がある。